

### 3 - 3 . 定性的調査結果

- ・当社会実験の感想や満足度などを把握するため、来街者アンケート調査および、商業者をはじめ、配送トラック、バス、タクシードライバーなど関係者へのヒアリング調査を実施した。

#### (1) 来街者アンケート調査結果

- ・アンケート調査は実験パターンによって意識の違いを把握するために、実験パターンごとに各1日間行った。また、沿道商店のご協力を得て、実験期間中店内でアンケート調査の配布、記入を行った。この時もどの日に記入したかがわかるように、アンケートシートに記入日を記載することとした。

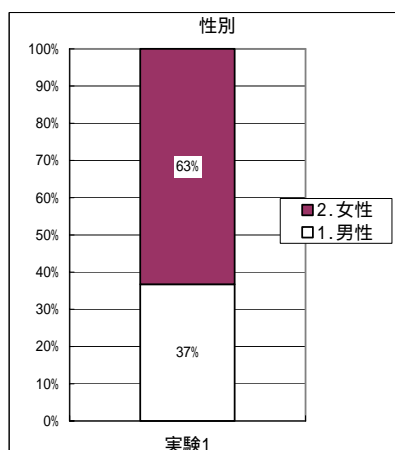
有効アンケート数 ( N = 348/381 )

問1) 性別、年齢、同行者、居住地について

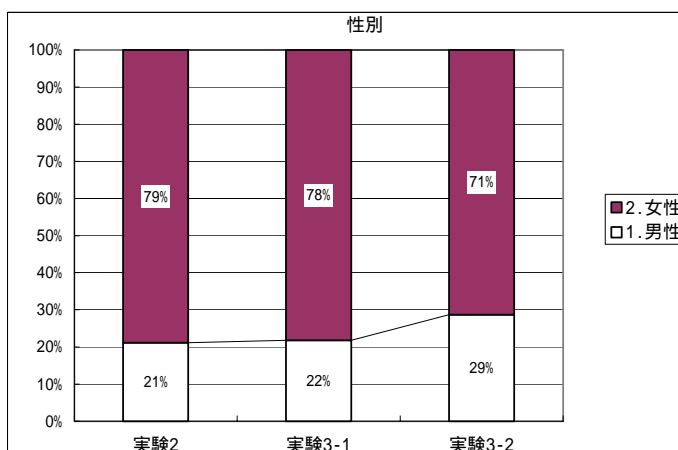
性別：

- ・アンケート回答者の性別は実験1においては、「男性」が約4割で「女性」が約6割となっているが、その他の実験パターンでは「女性」が約7~8割を占め、回答者の多くは女性となっている。

N ( 実験 1 ) = 68



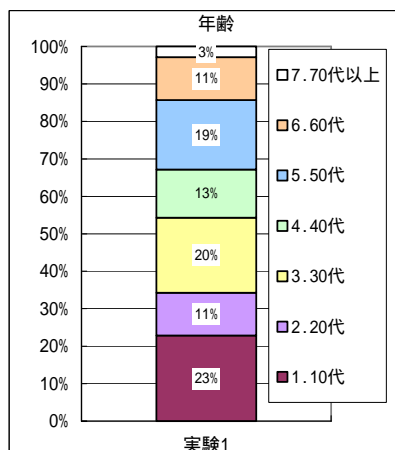
N ( 実験 2 ) = 71、N ( 実験 3-1 ) = 87、N ( 実験 3-2 ) = 115



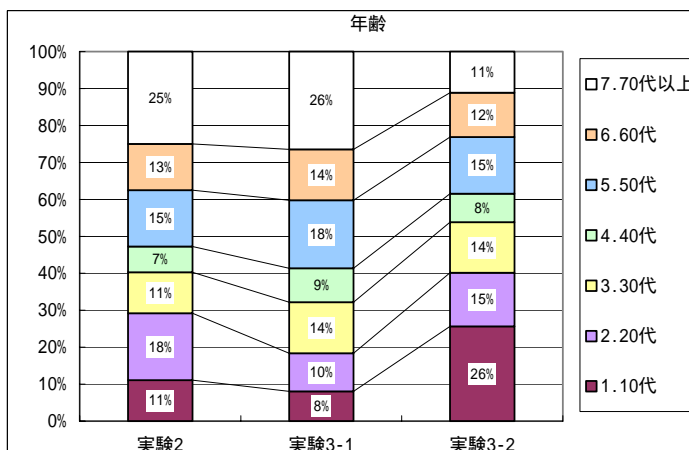
年齢：

- ・年齢は実験1においては、「10代」が最も多くなっているが、実験2、3-1では、「70代以上」が最も多く50代より上で約半数を占めている。実験3-2では再び「10代」が最も多く全体的に若い年代が占めている。

N ( 実験 1 ) = 70



N ( 実験 2 ) = 72、N ( 実験 3-1 ) = 87、N ( 実験 3-2 ) = 117

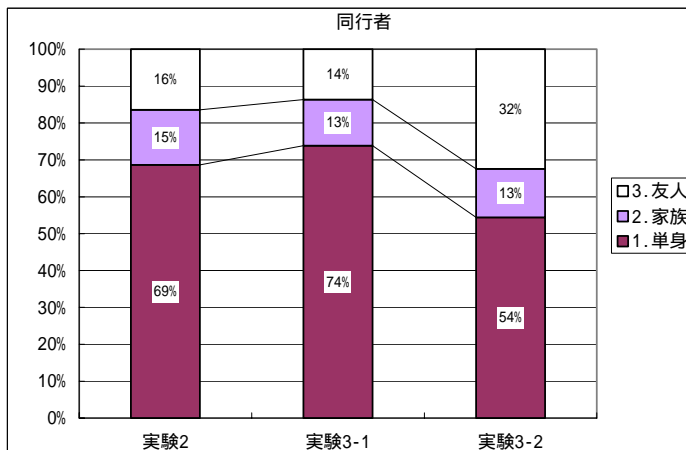
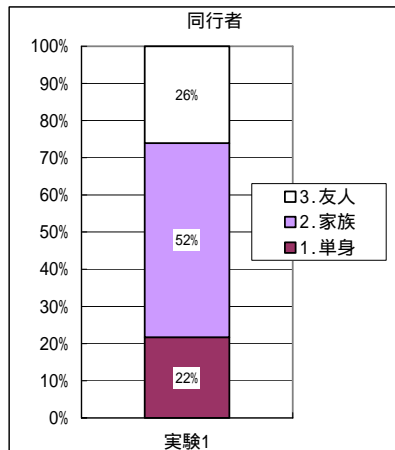


同行者：

- 同行者の有無では、実験 1 においては日曜日かつイベント開催もあったため、「家族」が最も多く、その他の実験パターンでは「単身」が多くを占めている。

N (実験 1) =69

N (実験 2) =67、N (実験 3-1) =88、N (実験 3-2) =114

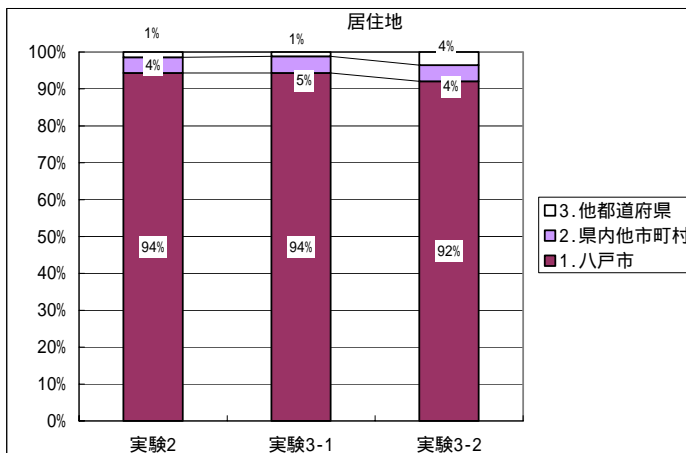
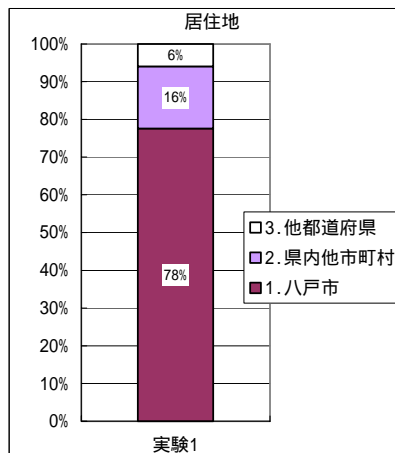


居住地：

- 居住地では圧倒的に八戸市在住が多いが、実験 1 では若干県内の他市町村からの来街も見られる。

N (実験 1) =67

N (実験 2) =71、N (実験 3-1) =88、N (実験 3-2) =114



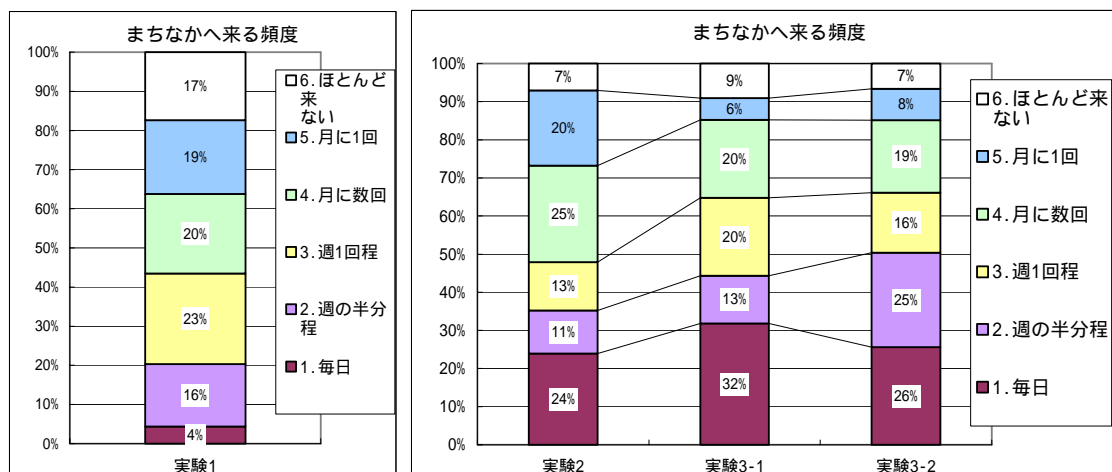
問2) 普段のまちなかへの来街頻度や行動などについて

まちなかへ来る頻度：

- ・ 普段、まちなかへ来る頻度は、実験1においては、「週1回程度」という人が最も多く、逆に「毎日」という人は最も少なかった。その他の実験では実験3-1、2共に「毎日」と回答した人が最も多く、「週の半分程」という人も合わせると、半数近くに上る。実験2では「月に数回」が最も多いが、「毎日」という人もそれに次いで多くなっており、実験2、3ではよくまちなかを使っている人が回答していることがわかる。

N(実験1)=69

N(実験2)=71、N(実験3-1)=88、N(実験3-2)=121

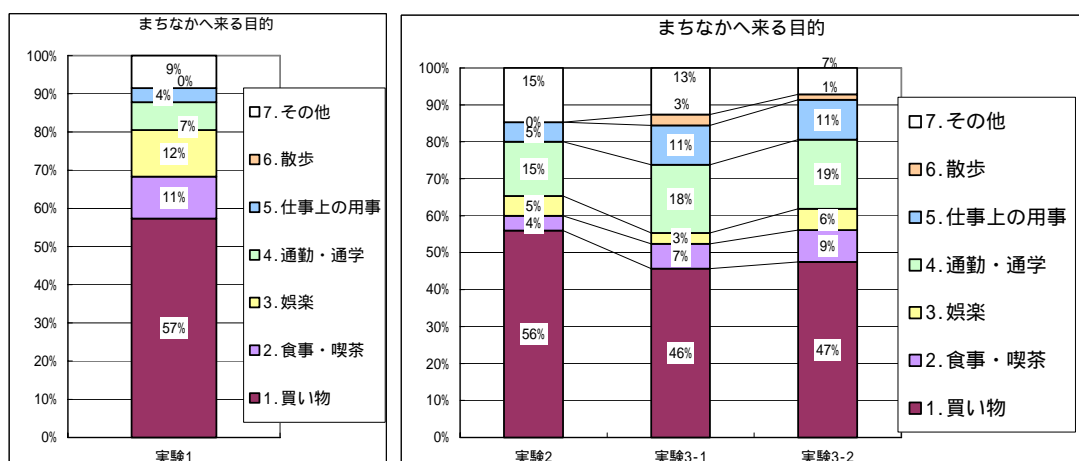


まちなかへ来る目的：

- ・ まちなかへ来る目的では、いずれの実験パターンにおいても「買い物」が最も多く、半数近くを占めている。その他の目的では、実験1では「娯楽」が比較的多く、その他の実験パターンでは「通勤・通学」が多いことから、ここでもより日常的にまちなかを利用している人が回答していることがわかる。

N(実験1)=82

N(実験2)=75、N(実験3-1)=103、N(実験3-2)=139



(まちなかに来る目的 自由回答)

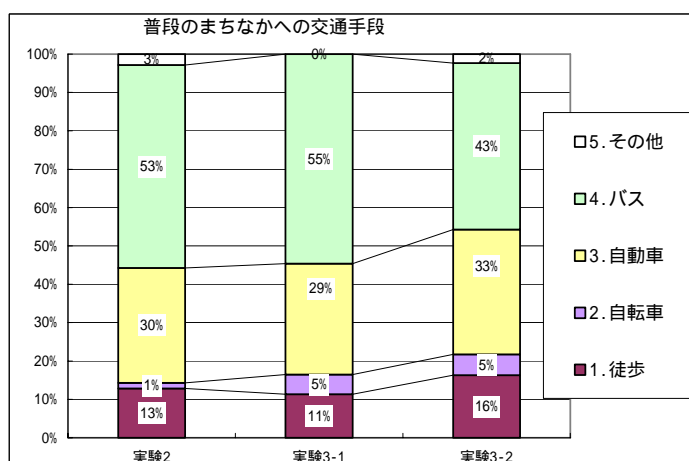
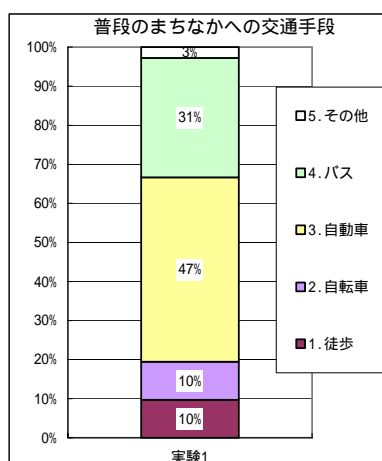
回答	回答数
<b>実験 1</b>	
暇つぶし	2
ストレス解消	1
図書館のついで	1
お祭り	1
帰省	1
<b>実験 2</b>	
病院	1
カルチャー	1
用事	1
職探し	1
<b>実験 3 - 1</b>	
病院	6
習い事	1
用事	1
会合	1
<b>実験 3 - 2</b>	
病院	6
美容室	1
カメラのフィルム依頼	1
居住地	1

普段のまちなかへの交通手段：

- ・まちなかへの交通手段では、実験 1 においては、「自動車」が最も多く約半数を占めているが、その他の実験パターンでは、「バス」が最も多く約半数を占めている。日常的にまちなかを利用している人ではバスを使って来ている人が非常に多いということがわかる。

N (実験 1) =72

N (実験 2) =70、N (実験 3-1) =97、N (実験 3-2) =129

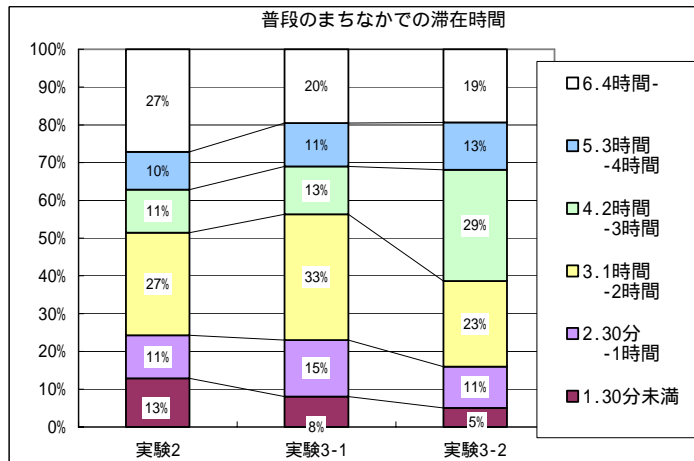
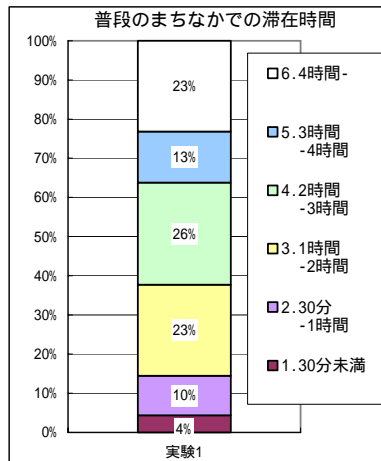


普段のまちなかでの滞在時間：

- ・まちなかでの滞在時間では、実験のパターンでそれほど大きな違いは無く、「1～2 時間」、「2～3 時間」や「4 時間以上」と回答している人が多い。

N (実験 1) =69

N (実験 2) =710、N (実験 3-1) =87、N (実験 3-2) =119



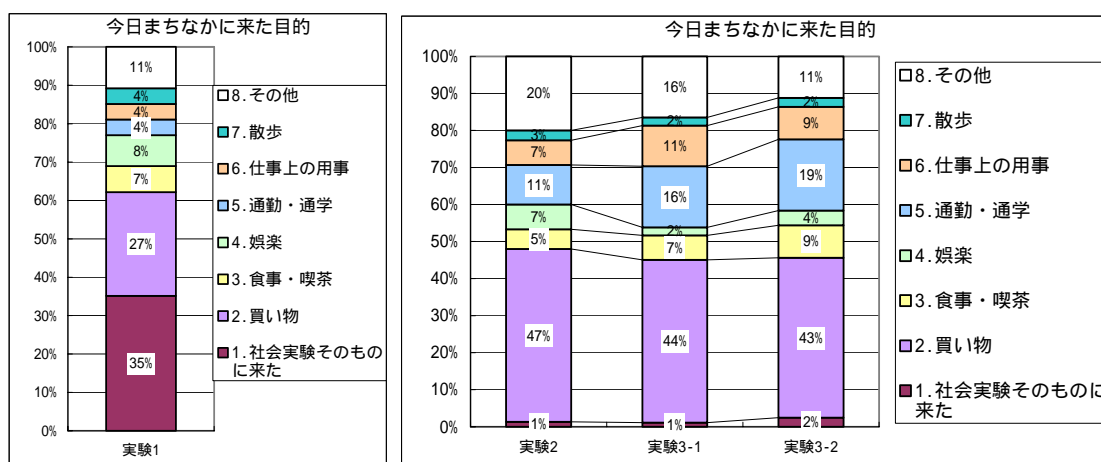
問3) 今日のまちなかでの行動について

今日まちなかに来た目的:

- アンケートを記載した日の来街目的では、実験1では、「社会実験(イベント)」が最も多く次いで「買い物」となっている。「社会実験」と「買い物」を合わせると、普段の目的における「買い物」と同じような割合となる。また、その他の実験では普段の目的とほぼ同じく「買い物」と「通勤・通学」が占めている。

N(実験1)=74

N(実験2)=75, N(実験3-1)=91, N(実験3-2)=125



(今日まちなかに来た目的 自由回答)

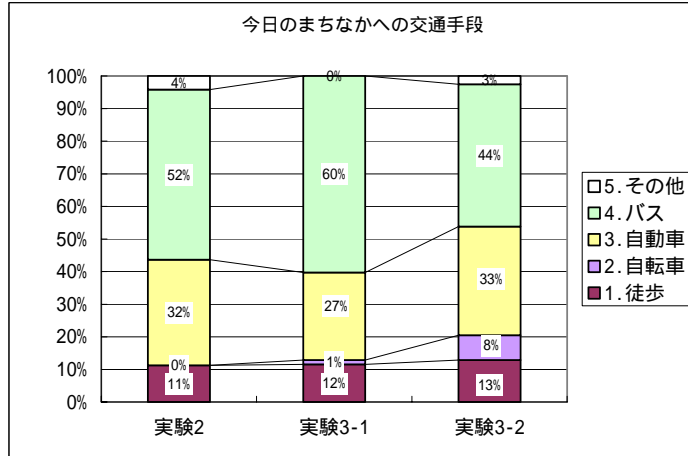
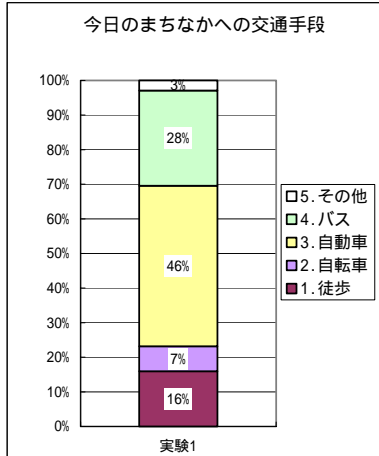
回答	回答数
<b>実験1</b>	
用事、ついで、たまたま	3
ダンス	2
公会堂	1
暇だから	1
<b>実験2</b>	
病院	2
カルチャー	1
用事	1
<b>実験3-1</b>	
病院	3
美容院	1
ケーキ	1
<b>実験3-2</b>	
病院	3
用事	1
役所	1
コーラス	1
お見舞い	1
遊び	1
カメラのフィルム依頼	1
休憩	1
居住地	1

今日のまちなかへの交通手段：

- ・まちなかへの交通手段では、いずれの実験パターンにおいても普段と変わりなく、実験1では、「自動車」が多く、その他の実験パターンでは、「バス」が約半数を占めている。

N (実験1) =69

N (実験2) =71、N (実験3-1) =78、N (実験3-2) =117

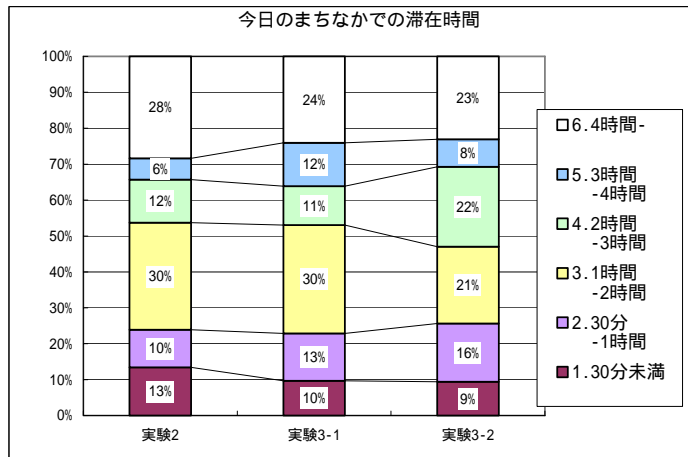
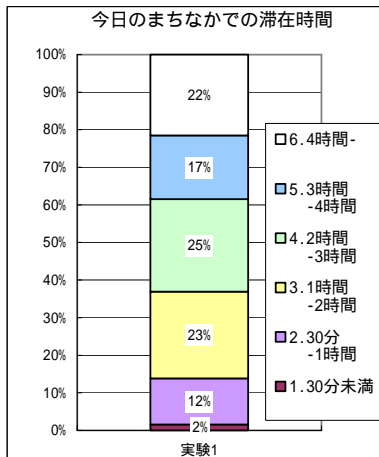


今日のまちなかでの滞在時間：

- ・まちなかでの滞在時間も交通手段と同じように普段と変わりなく、「1～2 時間」、「2～3 時間」や「4 時間以上」が比較的多くなっている。

N (実験1) =65

N (実験2) =67、N (実験3-1) =83、N (実験3-2) =117



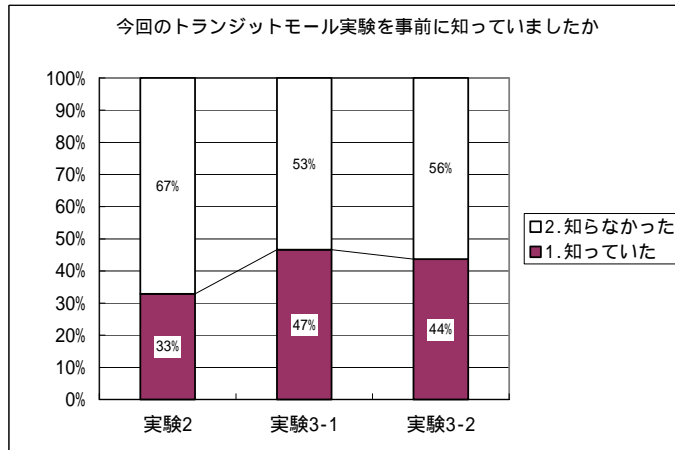
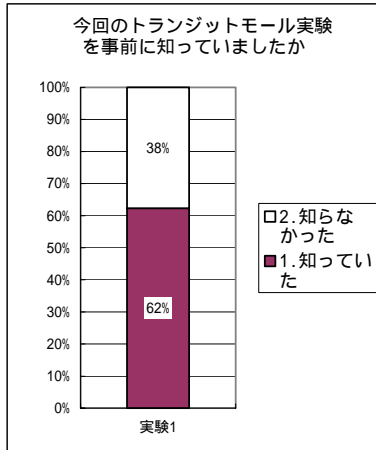
問4) にぎわいトランジットモールについて

今回のトランジットモール実験を事前に知っていましたか：

- ・今回の社会実験を事前に知っていたかということについては、実験1においては、イベント実施日のため、「知っていた」が約6割を占め、逆にその他の実験では「知らなかった」が約6割を占めている。

N(実験1)=69

N(実験2)=70、N(実験3-1)=88、N(実験3-2)=119

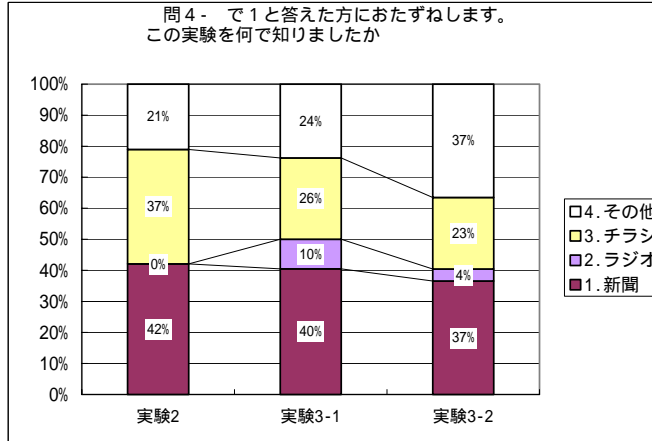
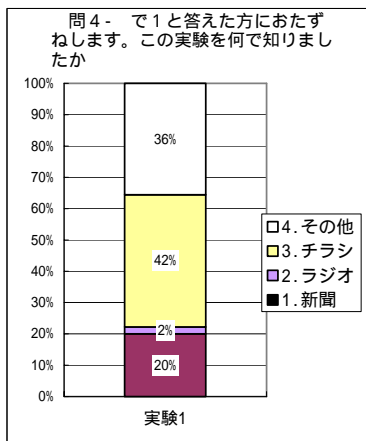


問4- で1と答えた方におたずねします。この実験を何で知りましたか：

- ・実験を何で知ったかについては、実験1では、「チラシ」が最も多く、その他の実験では「新聞」が多かった。

N(実験1)=45

N(実験2)=19、N(実験3-1)=42、N(実験3-2)=52



(実験を何で知ったか 自由回答)

回答	回答数
<b>実験1</b>	
友人・友達、知人、人から、うわさ	8
看板、貼り紙	6
交通規制にあつて、1時間くらい前に	2
<b>実験2</b>	
商店街から	1
看板	1
<b>実験3-1</b>	
看板	4
職場、仕事で	2
広報はちのへ	1
友人	1

(実験を何で知ったか 自由回答 つづき)

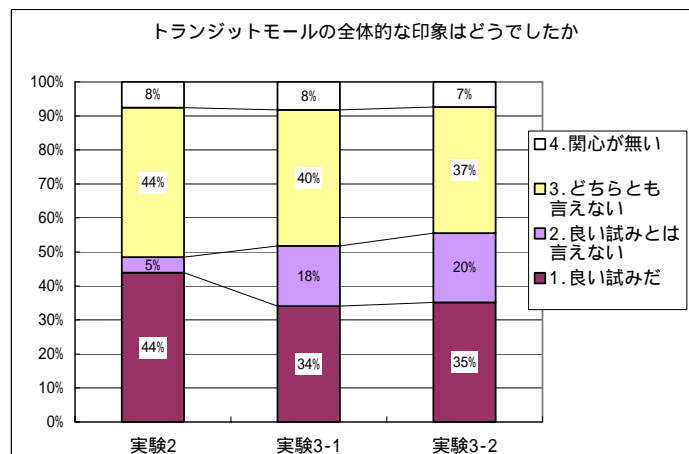
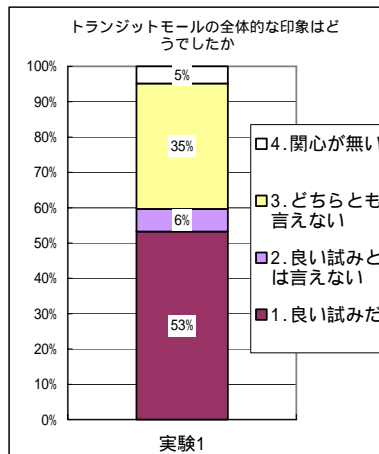
実験3 - 2	
看板	8
友人、知人、親	4
バイト先で、仕事で	2
ワークショップ	1
テレビ	1

トランジットモールの全体的な印象はどうか：

- 今回の実験で実施したトランジットモールについての全体的な印象については、実験1においては、「良い試み」が約半数を占め、逆に「良い試みとは言えない」という評価は少なかった。これは、イベント自体についての評価が含まれていると思われる。その他の実験パターンでは、実験2においては、「良い試み」と「どちらとも言えない」が約44%の同数となっており、実験3では、「良い試み」が若干減り、「良い試みとは言えない」が増加している。これは、自動車の利便性を段階的に下げていったため、全体的なイメージとして否定的な意見が増えたものと思われる。

N (実験1) =62

N (実験2) =66、N (実験3-1) =85、N (実験3-2) =108



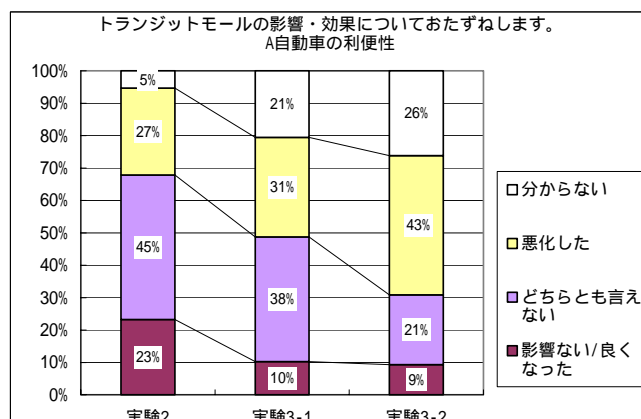
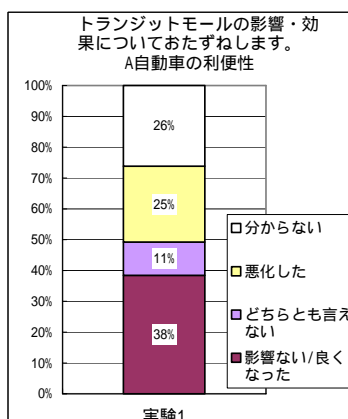
トランジットモールの影響・効果について

A 自動車の利便性

- 自動車の利便性については、実験1では、完全に道路から自動車を締め出したため、約25%の人が「悪化した」と回答している。一方で「影響ない」と答えた人は約40%を占めている。実験2では、「どちらとも言えない」が約45%で最も多く、「悪化した」と「影響ない」がほぼ同様な割合を示している。実験3では、「悪化した」が増えており、3-1では約30%、3-2では約40%と増加し、「影響ない」は減少している。

N (実験1) =65

N (実験2) =56、N (実験3-1) =78、N (実験3-2) =107

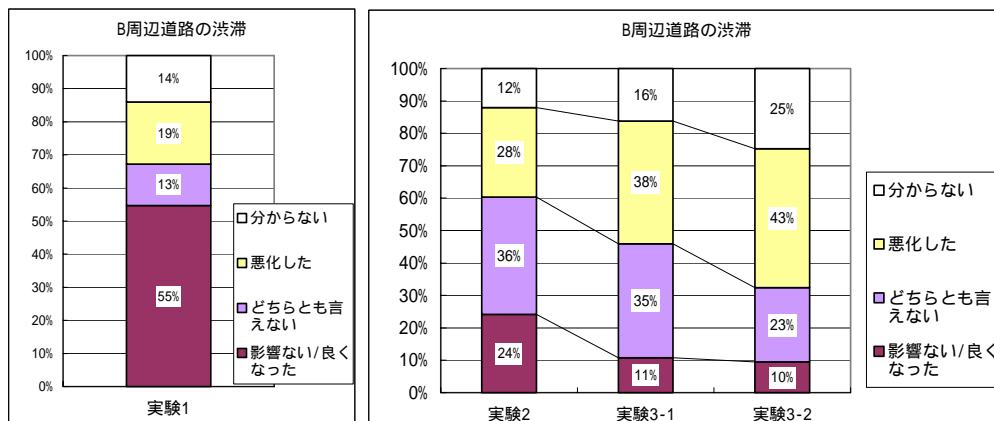


## B 周辺道路の渋滞

- ・周辺道路の渋滞については、実験1では「影響ない」が約半数を占めているが、自動車の利便性と同じように実験が進むにつれて、否定的な印象の回答が多くなっている。実験が進むごとに自動車の利便性を低下させているため、上記自動車の利便性も含め、回答者の印象が徐々に否定的となったと考えられる。

N (実験1) =64

N (実験2) =58、N (実験3-1) =74、N (実験3-2) =105

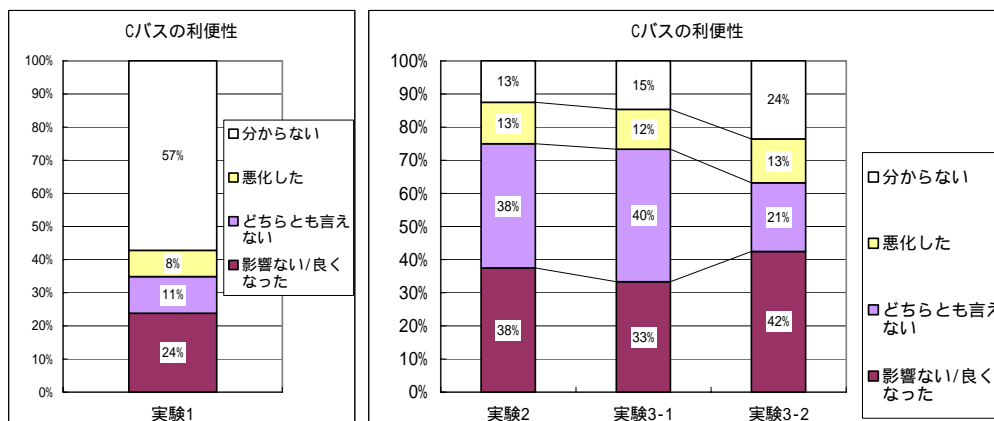


## C バスの利便性

- ・バスの利便性については、実験1では半数以上の方が「分からない」と答えており、実験2では「良くなった」が約40%に上り、実験3でも3-1で「良くなった」が約30%、3-2で約40%とバスの利便性については評価が高くなっている。

N (実験1) =63

N (実験2) =56、N (実験3-1) =75、N (実験3-2) =106

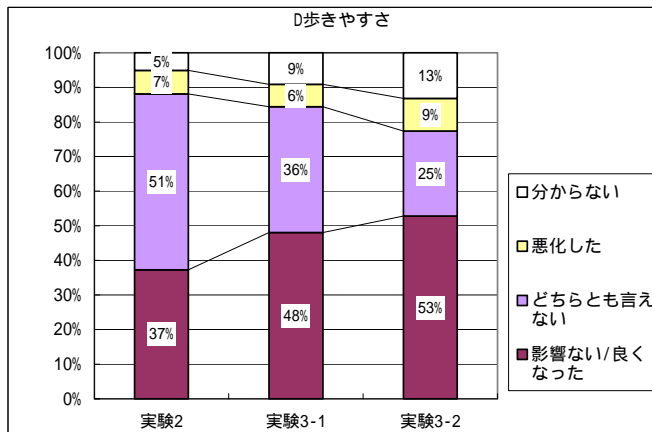
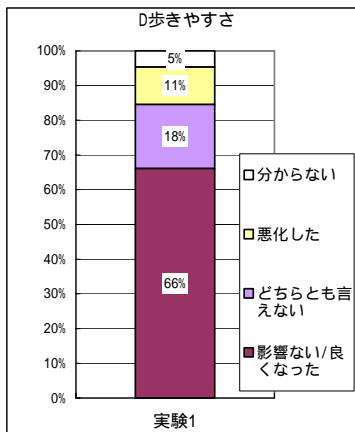


## D 歩きやすさ

- ・歩きやすさについては、実験1では「良くなった」が約7割近くに上り、実験2では約40%に低下したが、実験が進むにつれ上がり実験3-2では、半数以上が「良くなった」と回答している。自動車が少なくなり、車線も減少しただけ、歩行者のための空間が増えたことから肯定的な評価につながったと思われる。

N (実験 1) =65

N (実験 2) =59、N (実験 3-1) =77、N (実験 3-2) =106

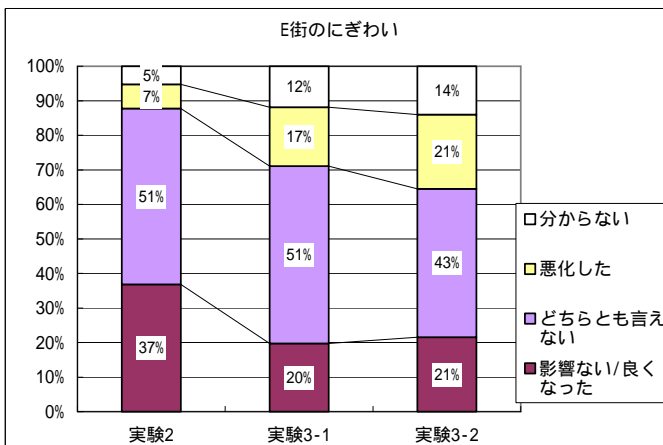
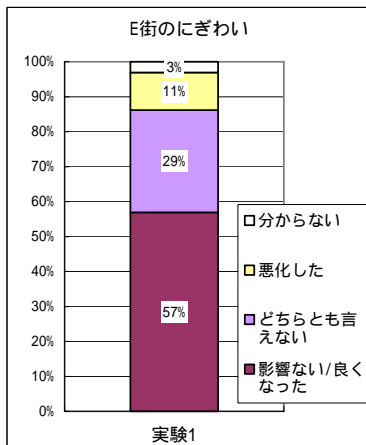


### E 街のにぎわい

・街のにぎわいについては、イベントを実施した実験 1 で、「良くなった」が約 6 割に上り評価されている。一方他の実験では、「良くなった」と回答した人が減少し、逆に「悪化した」が若干であるが増加している。しかしながら「どちらとも言えない」と回答した人はいずれも約半数に上っており、判断がつかかえている人が多いと思われる。

N (実験 1) =68

N (実験 2) =57、N (実験 3-1) =76、N (実験 3-2) =107

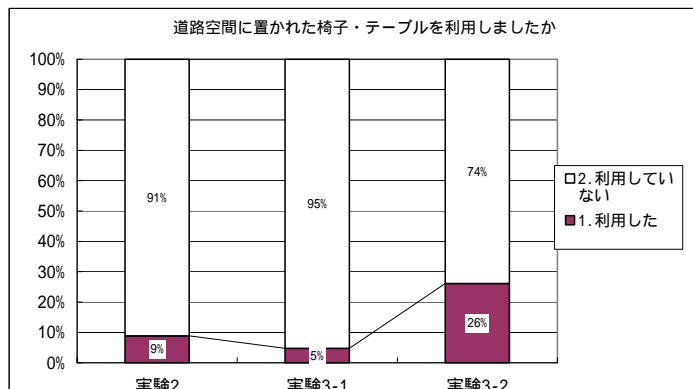
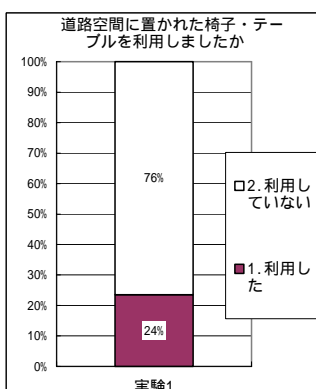


### 道路空間に置かれた椅子・テーブルを利用しましたか：

・アンケート回答者の椅子・テーブル利用状況については、実験 1 と実験 3 - 2 で同じような傾向を示しており、「利用した」と回答した人が約 25%となっている。一方、実験 2 と実験 3 - 1 も同じような傾向を示し、「利用した」と回答した人は 10%に満たない。

N (実験 1) =68

N (実験 2) =68、N (実験 3-1) =84、N (実験 3-2) =115

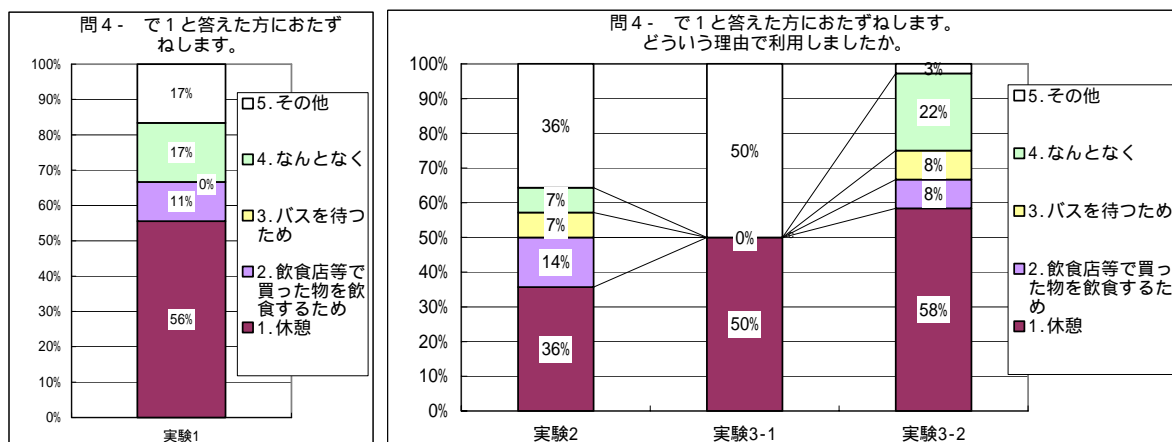


問4- で1と答えた方におたずねします。 どういう理由で利用しましたか。 :

- ・椅子・テーブルを利用した理由については、いずれの実験パターンにおいても「休憩」が最も多くなっている。その他の回答では「人を待っている」などの回答があった。

N (実験 1) =16

N (実験 2) =14, N (実験 3-1) =4, N (実験 3-2) =36



(利用した理由 自由回答)

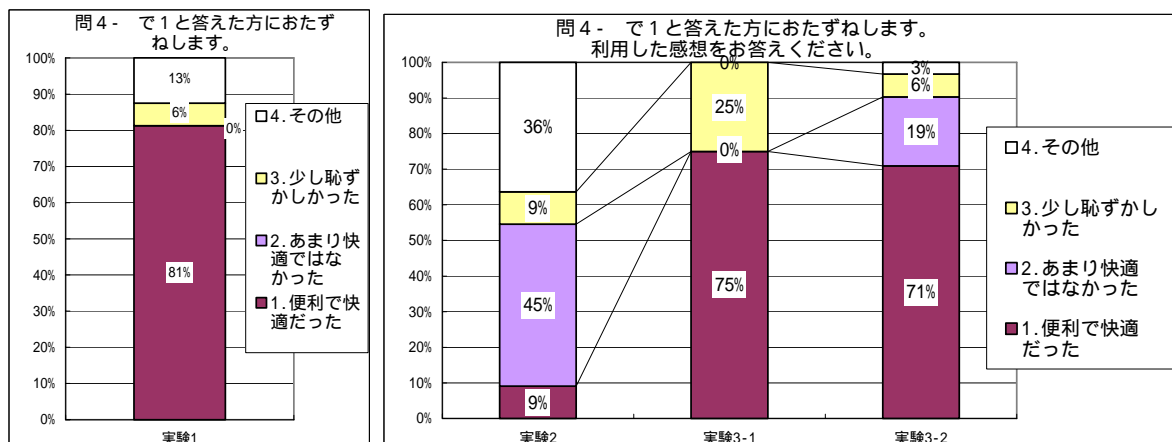
回答	回答数
<b>実験 1</b>	
人を待っているので	1
動きたくなかった	1
<b>実験 3 - 2</b>	
知合いがいたから	1

問4- で1と答えた方におたずねします。 利用した感想をお答えください。 :

- ・利用した感想については、実験 2 を除いて「便利で快適」という回答が最も多く、実験 1 では約 8 割、実験 3 では約 7 割に上っており、肯定的な評価が成されている。逆に実験 2 では、「あまり快適ではない」が約半数を占め、否定的な評価が成されている。実験 2 においては、1 車線のみ閉鎖し、椅子・テーブルを置き、通常の形に近く、自動車が頻繁に通る状態であったためと考えられる。

N (実験 1) =16

N (実験 2) =11, N (実験 3-1) =4, N (実験 3-2) =31



(利用した感想 自由回答)

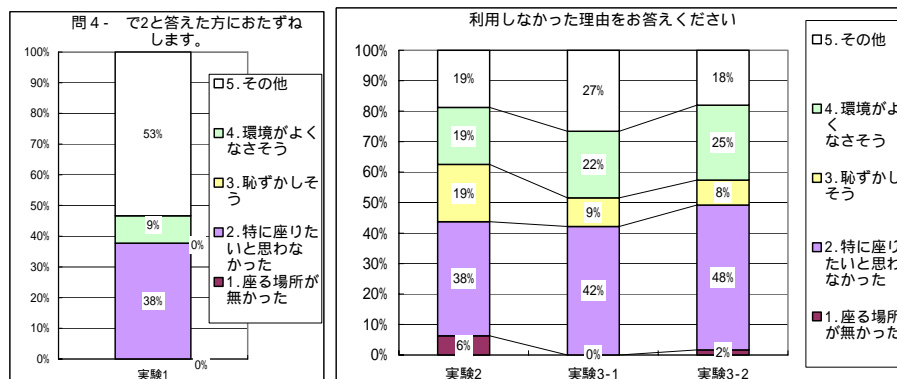
回答	回答数
<b>実験 1</b>	
天気にもよる	1
<b>実験 2</b>	
道路の中だと空気が悪すぎる。	1

問4- で2と答えた方におたずねします。利用しなかった理由をお答えください。:

・椅子・テーブルを利用しなかった理由については、実験1では、「その他」が最も多くなっており、その中では「雨だから」という理由が多かった。その他の実験パターンでは、いずれも「特に座りたいと思わない」という回答が最も多く、次いで「環境が良くなさそう」という回答が多かった。椅子・テーブルの設置場所やその存在感について否定的な捉え方をしていると考えられる。

N (実験1) =45

N (実験2) =32、N (実験3-1) =64、N (実験3-2) =61



(利用しなかった理由 自由回答)

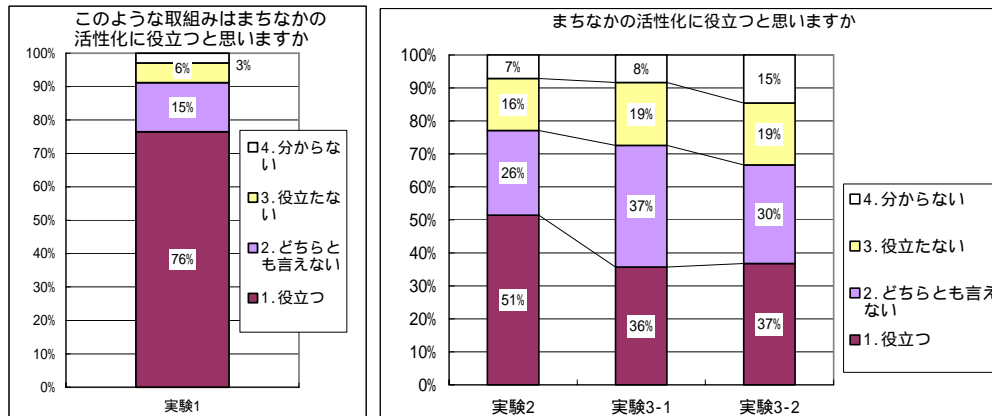
回答	回答数
<b>実験1</b>	
雨だから	8
来たばかり	5
宣伝がないから	3
勝手に使ってよいかわからないので	1
歩きにくい	1
1人だから	1
疲れなかったから	1
子供が1歳なので普通に座れない	1
寒かった	1
時間が無かった	1
割り引きセールなどやって欲しい。	1
<b>実験2</b>	
寒い	1
告知がない	1
仕事のため時間がない	1
まだなれていない	1
<b>実験3-1</b>	
寒いから	1
シャッターが降りている店が多い	1
知らなかった	1
<b>実験3-2</b>	
寒いから	3
勤務中のため	3
店を出してほしい	1
危険、埃が舞う	1
子供が遊べなそう	1

このような取組みはまちなかの活性化に役立つと思いますか：

- このような取組みはまちなかの活性化に役に立つかという問については、実験 1 では「役立つ」と回答した人が約 8 割に上り、イベントを含め高い評価が成されている。その他の実験パターンにおいても「役立つ」という回答が多くを占めているが、実験 3 では「役立つ」という回答が約 4 割と実験 1 に比べ半減している。いずれの実験パターンでも「役立つ」が「役立つでない」を上回っておりトランジットモールに比較的、肯定的な評価が成されていると思われる。

N (実験 1) =68

N (実験 2) =70、N (実験 3-1) =84、N (実験 3-2) =117

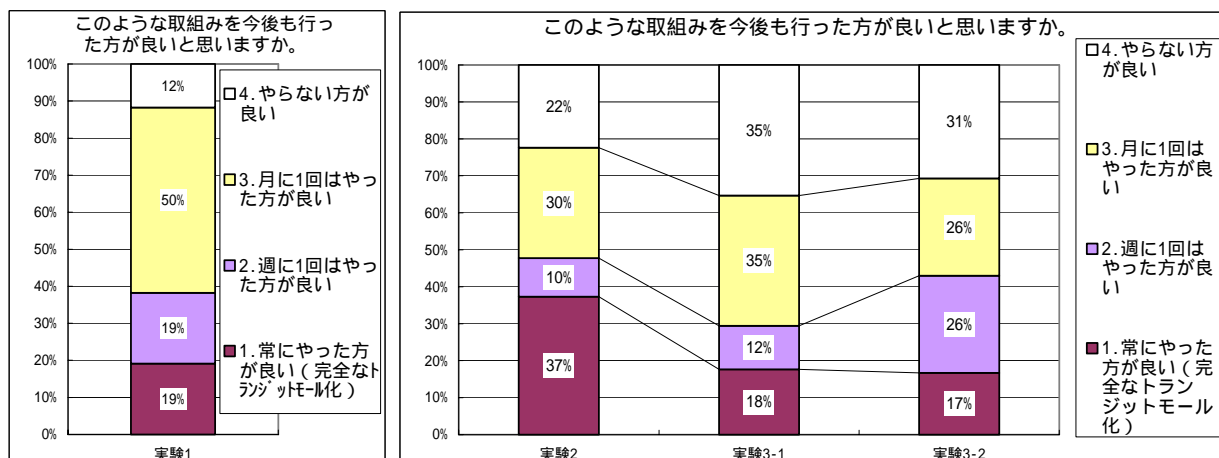


このような取組みを今後も行った方が良いと思いますか。：

- 今回のような取組みを今後も実施した方が良いかという問については、いずれの実験パターンにおいても「やった方が良い」という回答が多く、実験 1 では 9 割近く、実験 2 では 8 割近く、実験 3 でも 7 割近くが今後も実施した方が良いと回答している。
- 「やった方が良い」という回答の中では、その実施頻度として実験 1 では「月に 1 回」が最も多く、約 5 割を占め、実験 3 においても「月に 1 回」が最も多くなっている。また、実験 2 では「常に実施」が約 4 割と最も多く、1 車線の削減については、支持されていると考えられる。

N (実験 1) =68

N (実験 2) =67、N (実験 3-1) =85、N (実験 3-2) =114

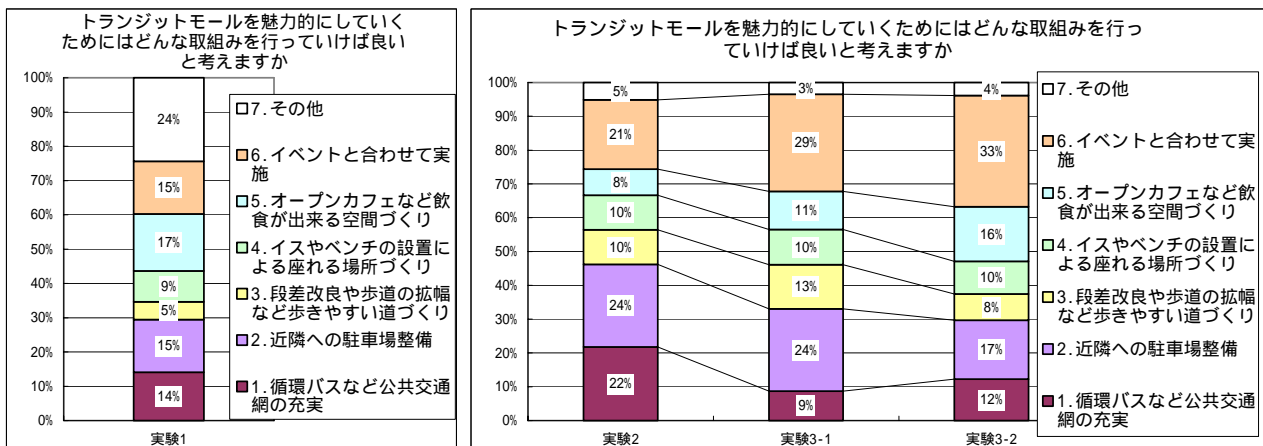


トランジットモールを魅力的にしていくためにはどんな取組みを行っていけば良いと考えますか：

- トランジットモールを魅力的にするためには何が必要かという問については、実験1では、「その他」が最も多く、次いで「オープンカフェなど飲食が出来る空間づくり」と続いている。実験2では、「近隣への駐車場整備」が最も多く、次いで「公共交通網の充実」となっており、交通基盤の整備を求めていることが読み取れる。実験3-1では、「イベントと合わせて実施」が最も多く、次いで「近隣への駐車場整備」となっており、イベント開催の重要性が読み取れる。実験3-2でも同じような傾向を示している。これらのことから、交通基盤の整備とイベント開催についての支持が高いということがわかる。

N (実験1) =78

N (実験2) =78、N (実験3-1) =115、N (実験3-2) =155



(魅力的にするための取組み 自由回答)

回答	回答数
<b>実験1</b>	
宣伝する	3
歩きにくい	1
こんなもんじゃないか	1
割り引きセールなどやって欲しい	1
<b>実験2</b>	
告知する	1
<b>実験3-1</b>	
シャッターが降りている店が多い。	1
<b>実験3-2</b>	
市場をつくる	1
困いを可愛くする	1
店を出してほしい	1
地本の住民・商店主の声を聴くべき	1
平日は効果なし、日曜日実施すべき	1

問5) 本社会実験の感想などの意見(自由回答)

回答	回答数
<b>実験1</b>	
<b>取り組みの印象</b>	
がんばってほしい、よくやっていると思う、もっとまちが発展すると思う	4
混んでいる。参加者が多い方がいい。前回よりにぎやか。	2
さびしい感じがする。	1
<b>天候について</b>	
天気のことを考えてやってほしい、天候を見て臨機応変に	5
アーケードをつける	1
<b>イベントについて</b>	
イベントが盛り上がり欠けている、イベントがマンネリ化している、広い年代で楽しめるようにしてほしい	4
津軽三味線とか、いろいろ見れて楽しかった。パンフレットで流れもよくわかり楽しめた	2
フリーマーケットなどを行うと人が来る	1
テーブルに座って何かを楽しむという気持ちになれないのは残念です。	1
毎週のようにやれば、もう少しおもしろくなってくるのではないか。	2
年に3回くらい行るのがよい。	1
連休中にやるべきだ。平日はやらないほうがよい。休みのひとしか来れない。	1
<b>交通環境について</b>	
駐車場が少ない、料金が高い、駐車券の割引・無料にする	3
交通が不便、渋滞を無くす	2
<b>歩行空間・回遊について</b>	
歩道が斜めでこわい。道路がデコボコ、障害者用・バリアフリーにする	2
バスで来たためベビーカーがないのでベビーカーの貸し出しをした方がいいと思う。	1
椅子にパラソルがあるのは良くなった	1
<b>その他、商店街についてなど</b>	
PR不足、知らない人が多い、県外から来た人にも情報がほしい、もっと宣伝したほうが良いと思う	5
脇のお店の賑わいがほしい、昔からのお店が無くなってさびしい	2
行政と民間がもっと協力してやってほしい	1
<b>実験2</b>	
<b>実施時期について</b>	
平日でないほうが良いと思う。	2
こんな寒い日にやらないで夏にやれば良いと思った。パラソルにもこの実験関係者しか座ってなかった。	1
<b>その他、オープンカフェについてなど</b>	
道路の脇で車が走っている場所では少しあぶないと思う。(イスにはすわれない)	1
休憩場所として定着すればよいと思い。今は少し恥ずかしい気持ちがありますが、慣れるための時間が必要な気がします。ぜひ、定着させて欲しい。時間をかけて、何事も即結論は出にくいもので頑張って	1
歩くには歩きやすいけど車では絶対通りたくないし、これからますます「車のない人は街、車持は郊外へ」という図式が成り立っていきそうな感じ	1
車道区別する表示ポストが工事しているものと同じで最初勘違いした。別の色を使用したほうがよいと思う	1
街中駐車場は料金が高い	1
まちの活性化にはつながらないと思う	1

## (自由回答 つづき)

回答	回答数
実験 3 - 1	
取り組みの印象・感想	
車も通れないとなるとすごく不便だし大変	2
渋滞でイライラした。工事しているかと思った	2
排気ガスを吸いながらのお茶は飲みたくない、環境が良くない	2
体や足の不自由な方にとって店の前でタクシーを乗降することができない状態はとても不便で、街で買物の機会がなくなることだと思う	1
トランジットモールなど不要だと思う	1
年々、人気なくなっていると思ったのでいい試みだ。	1
実施時期について	
平日は働いている人や学校があるので街中に人が集まらないと思う。日曜日にすればよい	5
昼の 11 時から 14 時までやるんだったらいいけど、夜までは長すぎると思う。	2
その他	
右一車線をパーキングメーター付きのパーキングにした方がよいと思う（十三日町、三日町、八日町）	1
仕事が終わってから、バスに乗る時どこで乗ったらいいのかわからなかった。	1
駐輪場を増やしてほしい。	1
まちがどに市場を開いた方がいい（六日町なら 6 日とか）	1
交通の問題、駐車場の指定（無料券等があれば）	1
実験 3 - 2	
取り組みの印象・感想	
トランジットモールは、便利だと思う、バスが通りやすく、車が少なくていいから良い	7
排気ガスがすごい。食べる気もしない	4
まだイスを使うには恥ずかしい感じがする。これが慣れてくれば気軽に利用できる様になっていくと思う	3
テーブルとかが置いてある意味がわからない。夜すわっている人はいなかった 危ないと思う	1
最初は何をやっているのか全くわからなかった	1
歩行者天国なら良いがトランジットモールのような中途半端なやり方はやらない方がよい	1
最低。見栄えが悪い。	1
商店街への影響について	
客足が遠のき商店の人が隙そう、町内の友人、知人に聴くと 2,3 分駐車（停車）の客が無くなり、客数は減ったの事	2
トランジットモール中は、人があまり街を歩いていなかった感じがした。	1
歩行空間・回遊について	
ポールが邪魔	2
楽しいお店が充実してからの実施が望ましい	1
飲食系を増やせばもっとテーブルにすわると思う	1
実施時期について	
秋は寒いのでもう少し暖かい時に行うと良いのでは？	1
にぎわいフェスティバルのようなイベントと合わせて月 1 回ぐらい実施できればいいと思う。	1
周知について	
事前の告知・アピールが必要、新聞での告知では不十分かも？	3
交通環境について	
車が渋滞して迷惑だった。車で来る人の事も考えて欲しい。周辺道路の渋滞を考えて実施したほうが良い	9
タクシーが拾えない	1
駐車場の無料化が最優先	2

(自由回答 つづき)

回答	回答数
実験3 - 2 (つづき)	
その他	
バス、タクシー、一般車、通行止めにするなら、オープンカフェ等で飲食してみたい。	1
一般車両が通行できないセミトランジットが良いでしょう	1
各商店の意気込みも感じられなかった。三日町、十三日町の商店が一体になって、やる気をださなければむづかしいと思う。	1
活性化して欲しいという中心街の声に合わない企画ばかり市や国は行っている。町おこしで成功している福島県(蔵を中心とした町づくり)や山形県などの情報を聴き、リーダーとなっている人と会って話を聴いてほしい	1
朔日街の一松堂医院の前の正部家種康さんが中心市街地のことを書いているから参考にすればよい。9の市を全面的に街のカラーにするとか考えてほしい 八戸市には3.6.13.16.23.8.18.1.11という市日が昔からある。街がにぎわうように殿様が考えて街づくりをしたという実績がある。この市日を復活させるなど、八戸市ならではの企画でなければ定着しないし愛されない	1